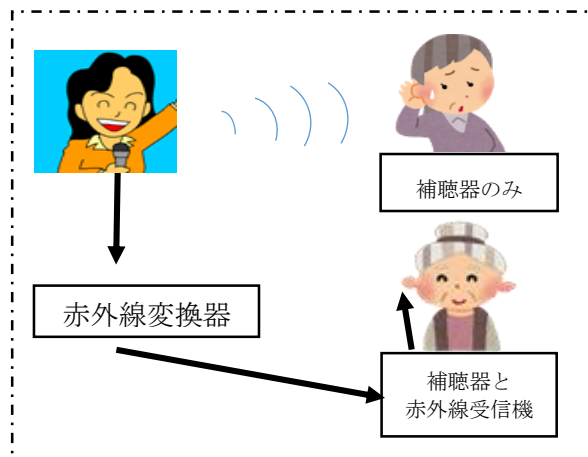


みみよい

なお知らせ！

みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日

シリーズ・聴こえのしくみ ～ 2回目 ～ 補聴援助システム



今月は『補聴援助システム』についてです。補聴器を装着し講演会や学校の授業など話し手と聞き手が離れている場合、多人数で雑音が多い場合、補聴器のみでの聞き取りでは難しいことがあります。

そこで、『補聴援助システム』が有効になります。例えば、赤外線補聴援助システムは話し手の音声を赤外線信号に変換し、赤外線受信機から補聴器へ音声を伝えるシステムです。補聴器にはM：マイクロホン/T：テレホン 普段はマイクロホンから音を入力しています。これをTに切り替えることで話し手もつマイクからの音声が赤外線受信機を介し補聴器へ直接伝わるため話し手の音声を耳元で聴くことができます。その他、磁気ループ、FMシステム・FM補聴器などもあります。

30名の学生ボランティア講座修了～手話・要約筆記・字幕～

6月18日(水)講座の修了式を行いました。修了証書を受けられた手話17名、要約筆記8名、字幕5名の計30名。5月から全6回の講座。聴覚障害について学ばれたことは、聴覚障害者の福祉の向上につながるだけでなく、学生自身の将来のためにも有益であります。講師の感想です。

【手話】覚えるスピードも早く、休憩時間も隣同士で手話表現について話し合っていました。聴覚障害者(ろう者)との交流の際は、手話で通じない時は筆談、身振りなどを合わせ柔軟に対応していました。聴覚障害(者)について理解し、手話を学ぶきっかけとなって頂けたかと思えます



【要約筆記】今回のような短期講座を受けて「要約筆記ができるようになった」とは、なかなか実感できないと思います。やればやるほど難しいと感じるのが要約筆記です。しかし、受講された方は優秀でした。講座で学んだことを学生生活の中で取り入れ、練習してもらえましょう。

【字幕】1回2時間の講座、休憩もとらずに一生懸命打ち込まれている姿が印象的でした。今後もセンターの字幕制作の戦力となってもらえることに期待しています。

県外からの視察相次ぐ

6月22日の見学会に来られたのは京都市、福岡県、北九州市、長崎県、鹿児島県の施設関係者をはじめ、25日には遠く北海道ろうあ連盟事務局長、26日に愛知県聴覚障害者協会副理事長が見学に来ていただきました。皆さん口々に「佐賀は素晴らしいセンターだ」とお褒めの言葉をいただきました。5年後、10年後も同じように言ってもらえるような質の高いセンターを目指します。



県議会文教厚生委員会の視察



県議会文教厚生委員会所属の9名の県議の方々が、6月25日(水)当センターに視察に見えました。まずセンター長から、開所から約3ヶ月のセンターの運営実績を、また、言語聴覚士と参事からも説明を行いました。

その後、議員さんから、色々質問や提案が出されました。例えば、定休日のこと・予算のこと・センターからの情報がまだまだ県民に届いてないこと・パンフが堅苦しいこと・聴覚障害者との接し方のこと等々。最後に、施設内をじっくり見学されました。



手話通訳・要約筆記で情報保障

&

18,000人が手話で応援

平成26年8月16日(土) v.s.F C東京
ベストアメニティスタジアム 19:00 kick off
※聴覚障害者特別招待枠があります。詳しくはセンターへ

嬉野市「心の架け橋手話言語条例」が施行されました

嬉野市はユニバーサルデザインを推進され、「ひとにやさしいまちづくり」に取り組まれていて、その一環で手話言語条例を制定されました。九州では初、全国で5例目の条例制定をした嬉野市に敬意を表します。これを機に、聴覚障害者についての理解が進み、気軽にどこでも誰でも手話で話しが出来る、自分が欲しい情報が手話で得られる社会が実現されるモデルとなってほしい。当センターもしっかり応援してまいります。



*手話言語条例*平成25年10月、鳥取県が全国で先駆けて制定し、続いて石狩市、新得町、松江市と制定。今回の嬉野市「心の架け橋手話言語条例」が全国5例目となります。手話言語法の早期制定を切望します。

PC文字通訳の講師 熊本から

6月から始まった養成講座に、熊本のパソコン文字通訳グループ「らん」代表 井上祐子氏を招きました。

パソコン実技9回を担当。

要約筆記におけるパソコンだからできること、パソコンゆえに利用者が利用しやすいように注意することなど、きめ細かい指導を受けています。

最近では「聞きのがしたことを確認できるのでよい」という声が多いそうです。パソコンだからできることを追及したいですね。

全聴情協総会に出席 佐賀の施設について評価を受ける

6月27日・28日に長崎で行われた2014年度総会・第10回大会 特定非営利法人 全国聴覚障害者情報提供施設協議会に出席しました。今年4月に開設した当センターは初めての出席、4名が参加しました。

総会では、協議会近藤事務局長よりお褒めの言葉をいただき、嬉しい気持ちではじまり。情報提供施設と協会との連携のこと、手話言語法、情報・コミュニケーション法のこと等のこれからの在り方を提案する内容でした。

そして全国各地からの出席された約80名の参加者との交流会では、お互いの情報が交換でき、とても勉強になりました。

翌日はブロック会議での情報交流で主にビデオライブラリー、字幕制作の在り方について九州内9施設よりそれぞれの代表より話があり、質疑応答の形で進められ、更に内容の深いものとなりました。



2014(平成26)年度総会 及び 第10回(通算22回)施設大会

ろう学校先生のセンター現場体験実習

7月1日、2日にろう学校の先生が当センターの現場体験学習に来られました。きっと生徒さんの就職指導等に役立つようにとの目的でもあります。1日目、ろうあ者でもあるA先生には、手話や字幕の講座で、参加者に当事者からのメッセージを伝えて頂きました。2日目のB先生には、要約筆記の講座参加や難聴者のピアカウンセリング担当者の説明を受けられ、反省会の時に、その体験の様子を熱く語られました。お二人には雑用もやって頂いた上に、私達に逆に刺激を与えていただきました。

* 編集後記 *

梅雨もそろそろ明けようとしている今日この頃、じめじめした空気をカラッと明るくするためにも!?今号から鮮やかなカラー紙に変更しました。現場の写真など会場の雰囲気も今まで以上に伝わるかと思えます。(編集:清田)

赤外線落語&にわか

7月19日(土)に赤外線落語等公演会を行います。聴覚障害者を対象とした会で、富士警備保障株式会社様の協賛により無料で開催することができました。会の様子は次号の新聞でお伝えします。

開場:10時(セツ内)

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12(佐賀商工ビル4階)
TEL:0952-40-7700 FAX:0952-40-7705
メールアドレス:info@saga-mimisapo.jp
ホームページアドレス:http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>

9:30 ~ 18:00
9:30 ~ 21:00(水曜)

<閉館日>

毎週木曜日、祝日